

08

August

らくさん

Vol. 22

関西大学リサーチアトリエ
活動 REPORT

information-STEP

岩手県大槌町風便り

社会学のよさツボ

みんな集まれ！
りそな銀行南森町支店
ショーウィンドー前

Step by STEP NEWS



8月のキャンパス
「吉里吉里海岸」

東日本大震災で甚大な被害を受けた
岩手県上閉伊郡大槌町。
日々変わっていく町の自然や情景を
佐々木和恵さんの描く
風便りに乗せてお届けします。

佐々木和恵
岩手県上閉伊郡大槌町在住。書家の今柄紫峯先生と
STEPが同町で開催している創作書道教室に参加されたのを
きっかけに、得意の絵画を「らくさん」に掲載することになる。



楽 3

輝く海と
夏の風

08

August
らくさん
Vol. 22

関西大学リサーチアトリエ
活動 REPORT

information-STEP

岩手県大槌町風便り

社会学のよさツボ

みんな集まれ！
りそな銀行南森町支店
ショーウィンドー前

Step by STEP NEWS

与

安全は「危険が少ない状態」。
安心は「危険が少ない状態にあるという『思い』」。
ですから、安全と安心が一致していることは
なかなか難しいようです。
安全で安心な状態が一番いいことは
間違いないのですが、
一番悪い社会状況はどんな場合でしょうか？
ちなみに、「安全でもなく、安心もしていない」
状況ではありません。
一度、考えてみてください。

社会のよさツボ

きっと誰かに話したくなる
生活に役立つ身近な
社会学をご紹介します

第四回
「安全安心と
いうけれど…」
文=与謝野有紀

みんな集まれ！

りそな銀行南森町支店
ショーウィンドー前

商店街の一角がライブ会場に大変身!!
観覧無料

**南森てんこもり
ライブ!! 第32回**

2014年8月23日(土) 15:00~19:00
オールディーズ、スタンダード・ジャズ
フォーク、オリジナル曲、セッション

Super Wonder Drug／室津敬一郎／2Hope
柳川豪／アーダコーダ／ファンファン
かおりん／まるおかかずこ／京子

**南森てんこもり
ライブ!! VOL.32!**

2014.08.23(土) 午後3:00-7:00
毎月第四土曜日開催(次回は9月27日)

●場所:南森
●時間:午後3時~7時
●料金:入場無料
●出演者:オールディーズ、スタンダードetc
ジャズ・フォーク・オリジナルetc
●プログラム:
15:00-Super Wonder Drug / 15:30-2Hope
15:55-アーダコーダ / 16:20-ファンファン
16:45-柳川豪 / 17:10-室津敬一郎
17:35-かおりん / 18:00-まるおかかずこ
18:25-京子

※プログラムは音楽による進行もあります。ご了承下さい

●出典:ライブ音楽情報
南森第一番
まるかずこ
アーダコーダ
<https://www.facebook.com/maruto1964>
<http://www.iwanukarainmusic.com/index.html>
<http://iawakodo.edoic.jp>

●Facebook: <https://www.facebook.com/groups/10382828443586/>

協力:天神橋二丁目商店街事業組合

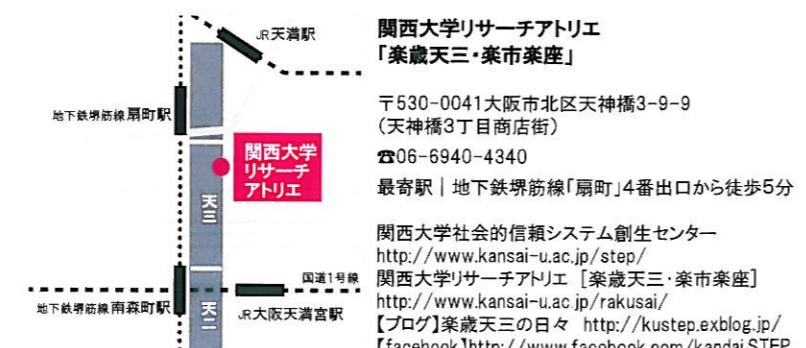
step by STEP
NEWS

関西大学社会的信頼システム創生センター
KANSAI UNIVERSITY Research Center for
Social Trust and Empowerment Process

天神橋筋・中崎町界隈文化マップ
無料配布中

関西大学社会資本計画研究室作成
「天さんを歩こう。」マップ
無料配布中

関西大学リサーチアトリエ最新情報
facebookにて随時更新中



関西大学リサーチアトリエ 活動 REPORT



商店街で国際交流 韓国・嶺南大学の学生が アトリエを訪問

2014年7月9日、韓国の嶺南大学の皆さんがあたり工にお越しになりました。嶺南大学は関西大学が学生交換協定を結んでいる大学で、今回のアトリエ訪問では主に東アジア文化について研究されている院生たちがお越しになりました。アトリエでの研究・社会連携の取り組みを中心に、アトリエ周辺地域について説明しました。研究に関しては、STEPが発行している紀要『社会的信頼学』の創刊号に掲載されている「高齢者居住形態による社会的災害脆弱性指標の構成とその検討—大阪市北区の全戸を対象とした分析から—」(安部美和、与謝野有紀・著)と「商店

街における小イベントの役割と効果—天神橋筋三丁目商店街リサーチアトリエでの取組みー」(北詰恵一、近藤史弥・著)を紹介して、都市部における災害への対策の考え方や地域活性化を目的とした商店街との取り組みについて意見交換しました。社会連携に関しては、アトリエで行われた防災イベントや違法駐輪対策の社会実験として地下鉄南森町駅3番出入口付近に設置しているベンチの様子などについて紹介し、その反響や新たに生じた問題について意見交換しました。様々な議論を通してお互いの考えを理解することができ、有意義な時間を過ごすことができました。

関西大学リサーチアトリエ(楽歳天三・楽市楽座)では、毎月たくさんの方々とともにさまざまな社会連携活動に取り組んでいます。ここでは7月に行われた、最新の連携活動をご紹介します。連携活動にご協力・ご参加くださいました皆さん、ありがとうございました。



商店街で学ぶ 学外の意見を聞く 貴重な場に

関西大学社会学部の林先生(STEP副センター長)のゼミが、2014年7月17日にアトリエで行われました。以前に行われた実習で見つけた商店街の課題と、大学で学んだ知識を活用してゼミ生が考案したその解決策を商店街関係者の方に聞いていただき、様々な視点から数多くのご意見をいただきました。

ゼミ生が今回取り上げた課題は、「違法駐輪」と「商店街の活性化」についてです。まず駅近くに「駐輪禁止」と張り紙があるにもかかわらず停められている自転車の状況を報告しました。さらにその状況を分析し、違法駐輪の解決策を提案しました。「商店街の活性化」については、商店街における空き店舗の状況を報告しました。空き店舗を埋める新たな事業について、地域性などを踏まえた提案がありました。これらを受けて、商店街関係者の方から、これまでの商店街での取り組みや学生たちの提案についてご意見をいただきました。「まだまだ検討の余地はあるが、さらに話を詰めていけば面白い取り組みになりそうだ」と引き続き学生さんには商店街と一緒に問題に取り組んでもらいたいとおっしゃっておられました。学生にとっても学外の方と交流する貴重な機会にもなり、いろいろな面で勉強になったようです。



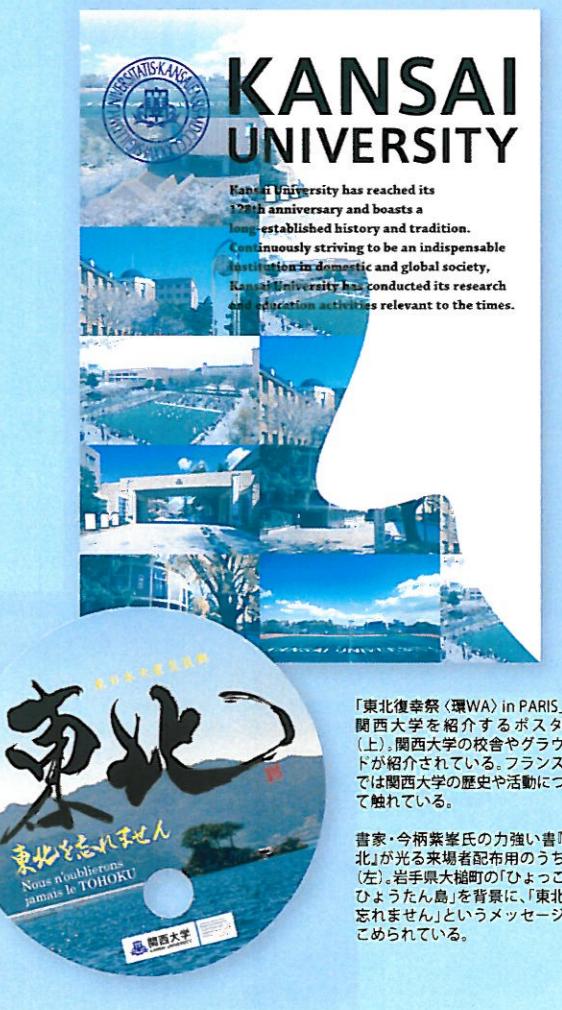
東北復幸祭 <環WA>in PARIS

—死と再生、未来へつなぐ—

Information-STEP

日本大震災からの教育復興プロジェクトとしてフランス・パリで8月末に行われる「東北復幸祭<環WA>in PARIS」に、関西大学が参加することになりました。

これまでSTEPでは、岩手県大槌町を中心にさまざまな東日本大震災の復興支援を行ってきました。STEPと共に被災地の仮設住宅での書道教室などを行っている書家・今柄紫峯氏が、作品制作をその場で行います。来場者に対して、東日本大震災の記憶を新たにし、また、長く記憶に留めておいていただけるように、作品を記念として配布する予定です。



「東北復幸祭<環WA>in PARIS」で関西大学を紹介するポスター(上)、関西大学の校舎やグラウンドが紹介されている。フランス語では関西大学の歴史や活動について触れている。

書家・今柄紫峯氏の力強い書『東北』が光る来場者配布用のうちわ(左)。岩手県大槌町の「ひょっこりひょうたん島」を背景に、「東北を忘れません」というメッセージがこめられている。